

公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 部分公開
	☐ 非公開

令和6年度 第1回浜松市社会福祉審議会児童福祉専門分科会会議録

- 開催日時 令和6年5月16日（木） 14:00～14:50
- 開催場所 市役所本館8階 第5委員会室
- 出席状況

委員	渥美 美帆（あつみ みほ）、泉谷 朋子（いずみや ともち） 梅沢 智子（うめざわ ともち）、大塚 文俊（おおつか ふみとし） 岡本 孝子（おかもと たかこ）、澤木 達治（さわき たつじ） 延本 寿（のぶもと ひさし）、村山 恵子（むらやま けいこ）
欠席委員	鈴木隆幸（すずき たかゆき）、山本 泰子（やまもと ひろこ）
事務局	こども家庭部：吉積部長 こども若者政策課：園田課長、藤井課長補佐 鈴木管理・育成グループ長 青少年育成センター：足立所長 子育て支援課：小山課長、仲谷担当課長、佐藤課長補佐 児童相談所：鈴木所長、池田所長補佐 幼保支援課：井川課長、金原課長補佐 幼保運営課：大橋課長、渡邊課長補佐 健康増進課：渥美課長 教育総務課：鈴木学校・地域連携担当課長、鈴木児童会管理グループ長 教育支援課：南瀬課長
- 傍聴者 3人
- 内 容

《審議》

（1）（仮称）浜松市こども計画の策定について （こども若者政策課）

ア 市町村こども計画の概要について

イ （仮称）浜松市こども計画の策定に係るアンケート調査結果について

《報告》

（1）令和5年度 浜松市児童相談所の相談統計について （児童相談所）

（2）令和5年度 浜松市家庭児童相談室の相談統計について （子育て支援課）

（3）浜松市立幼保連携型認定こども園条例について （幼保運営課）

（4）令和6年4月保育所等利用待機児童数について （幼保支援課）
- 会議録作成者 こども若者政策課 管理・育成グループ 和田
- 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 ☒ 有・無

8 会 議 記 録

1 開会

2 委員の紹介

3 会長の互選、職務代理者の指名

泉谷委員が会長に、大塚委員が職務代理者に決定

4 議事

《審議》

(1) (仮称) 浜松市こども計画の策定について

(こども若者政策課)

ア 市町村こども計画の概要について

イ (仮称) 浜松市こども計画の策定に係るアンケート調査結果について

(園田課長)

ア、イ について説明

(村山委員)

事前質問を事務局へお送りいたしました。子どもたちの育ちについて色々とお考えいただきありがとうございます。

地方版子ども・子育て会議の位置付けを児童福祉専門分科会にすることは反対です。前回、令和5年度第3回児童福祉専門分科会でも議論があり、なぜかその議論の部分が、会議録に記載がありませんでした。非常に大事なことだと思っておりますので、心得違いとは思いますが事務局には記録をお願いしたいです。

児童福祉専門分科会は、年間4回しかありません。私達だけで決めるのではなく、是非とも子どもに関わるすべての支援者が一堂に会して意見を交換するような別の会議を設置していただきたく、強くお願いいたします。私は現場の声をお届けするのが役割だと思い、こちらに参加させていただいております。

実際に貧困家庭は困っており、学習支援は必要です。障害保健福祉課等も入っていただかないと、障がいのある子どもたちが置いていかれてしまいます。浜松市内のどこで生まれても同じようなことが受けられるよう30年後の浜松市を見据えて考えていただきたいです。不登校の子どもどんどん増えていますので、ぜひ教育分野も一緒に入っていただきたいです。子どもの権利を考える部会も必要なので、司法関係の人も欲しいです。

そのような現状を少しでも改善するために、子どもたちも含めて、より広く意見を聞く場を是非とも設定していただきたいです。

(園田課長)

現場の声、子どもの声、支援者の声を聞くのは非常に重要なことです。組織を作ることは即答ができませんが、こども基本法でも子ども当事者、支援者の声を聞いていくことは、義務付けられています。できるだけ多くの方たちの声を聞いて、計画策定をしたいと考えています。

(村山委員)

新しい会をつくるのは大変だとは思いますが、こども計画のために必要な意見は載せて欲しいです。それは子どもたちを助けるために大切なことです。検討ではなく、実施をお願いします。

(延本委員)

こども版市長へのご意見箱設置やフリーボードの設置というのを伺いましたが、紙媒体で考えていますか。

(園田課長)

こども版市長へのご意見箱についてですが、今までもインターネットで子どもの意見を聞くことができましたが、なかなか大人のホームページにアクセスしていくのは難しい現状がございました。子どもでもわかりやすいような項目を含めて、そこから意見が言えるような形にさせていただいております。それ以外にも、協働センター等にて紙で書くことができます。

フリーボードは、浜松こども館と青少年の家に大きい模造紙を設置し、そこに付箋で意見を書くことになります。その意見を集約して、フィードバックも実施していきます。

(延本委員)

なかなかそこに行けない子どもの意見は反映できないということになります。我々も、施設から行政へのアンケート回答などは、ロゴフォームのようなシステムを使い、デジタルで入力して提出するということをやっています。何かしら、幼稚園、保育園、こども園に協力してもらったり、園へ通ってないお子さんには例えば小児科や、そういった所にも協力を依頼して、こういうアンケートありますのでここにアクセスするとアンケートのページが開きますと案内してもらい、より広く間口を広げた方が意見も聴取できると思います。今は、ペーパーレスの時代でありますので、そういった取り組みを考えていただけると、集計もしやすいのではないかと思います。

《報告》(1) 令和5年度 浜松市児童相談所の相談統計について (児童相談所)
(鈴木所長)

(1) についての説明

《報告》(2) 令和5年度 浜松市家庭児童相談室の相談統計について (子育て支援課)

(仲谷担当課長)

(2) についての説明

《報告》(3) 浜松市立幼保連携型認定こども園条例について (幼保運営課)

(大橋課長)

(3) についての説明

《報告》(4) 令和6年4月保育所等利用待機児童数について

(幼保支援課)

(井川課長)

(4) についての説明

【質疑・意見 《報告》(4)】

(澤木委員)

保育園待機児童について、浜北地区で保育園の定員が減ったと聞きました。大丈夫でしょうか。聞くとところによると、以前に増やした定員を元に戻したらしいです。

(井川課長)

具体的な園の状況については確認が必要です。保育所の受け入れにつきましては、保育室の面積や職員の確保が整えば、定員を超えて受け入れることも、状況としてはございます。引き続き、ニーズに応じた募集を行えるよう努めてまいります。

(澤木委員)

待機児童がゼロではありますが、地域によっては希望している所には入れない現状があるのではないのでしょうか。定員の見直しについては、働き手の問題があるのかもしれないです。

(井川課長)

定員については園の状況によって減らすことがあります。具体的な定員減少については、個々の園の状況を確認する必要がありますが、待機児童が発生しないよう受け皿確保に努めてまいります。

【質疑・意見 《報告》(3)】

(大塚委員)

公立幼稚園のあり方について以前も意見があったとは承知しています。公立幼稚園を存続させるためにも、子どもが減っている部分を保護や支援に回していけるような浜松ならではの施設を考えて欲しいです。全国にはそういった形はないとは承知していますが、そういった対応ができるような施設に変えていくことを考えていただきたいことが、私たち浜松市私立幼稚園協会としては考えているところでございます。

やみくもに数を減らしていくのではなく、皆でそれぞれができることを協力し合ってやっていき、浜松市の30年後の未来を見据えた話を、これから皆で考えていけたらいいかなと思っています。意見としてで、回答を求めるわけではありません。

(大橋課長)

貴重なご意見、ありがとうございます。

3 閉会